

栄養科学研究所



■ 業務内容

世界に通じる科学的根拠をもった栄養製品を開発するため、開発コンセプトの策定、機能性成分の探索及びスクリーニング、ヒトでの効果検証を行います。さらに、製品化された後も新たなニーズやシーンを探索し、それを評価することで付加価値を創造していきます。開発コンセプトの策定は、生活者のまだ気付いていないニーズを自ら考え、消費者調査等を行いながら、それを解決するための解決策として企画化していきます。安全性や各国の規制も踏まえながらin vitro等で評価系を構築し、機能性成分を探索します。ヒトでの効果検証は、機能性成分をヒトが摂取した場合に、期待する効果を有するのか社内外で様々なヒト試験を実施して検証します。製品上市後の付加価値創造は、社内各部署と連携しながら新たなニーズやシーンを特定し、ヒト試験で確認します。なお、これら一連の研究活動は企画した研究員がすべてに携わり、研究員の「想い」を大切に、製品に反映させています。また、得られた結果は、論文化することで学術情報として製品の展開に応用していきます。

栄養科学研究所は、2025年に別々だった研究所が佐賀研究サイトと大津研究サイトとして再編成され、「運動と栄養」「女性の健康」「腸内環境・免疫と健康」など幅広い領域で研究活動を行っています。

■ 大切にしている思い

全世代の生活者が健康で活躍し続ける社会を目指して製品開発を行っています。私たちは、人々の生活を豊かにするためには生活者個人及び社会の両面から健康問題を解決することが重要であると考え進めており、すでに顕在化している市場ではなく、生活者の困りを見出し、社会に貢献できる栄養製品の新しいカテゴリーをグローバルに創りだすことを目指しています。

■ 働く環境・チームの雰囲気

自由な発想や研究活動を推進できる環境として、自由な議論が可能な雰囲気があります。チーム内だけでなく、研究所全体でサポートする環境があります。男女比もほぼ同数であり、プライベート・家庭と仕事の両立を応援しており、気楽に相談もできる雰囲気があります。

■ 求めている人物像

- 専門分野にとらわれず、社会で起こっている様々な問題に興味のある方
- 物事を色々な角度から見ることができ、その違いを論理的に表現できる方
- 自分の考えを表現し、周りを巻き込んでいける方
- 何度失敗してもくじけず、創意工夫で障害を越えていける方